

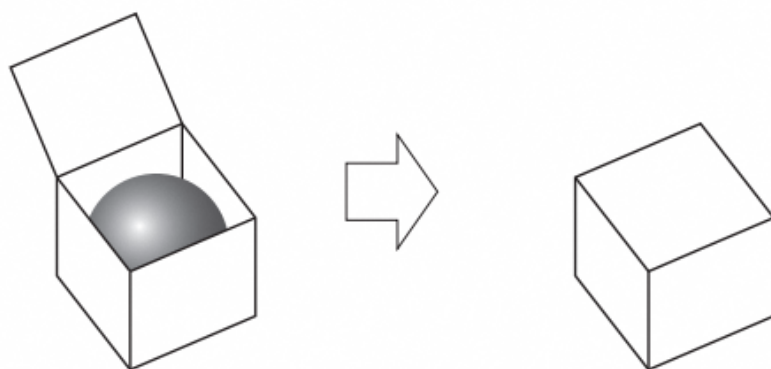


この問題解けるかな？
全国の小学生が
挑んだ問題（算数）です！

(3) 直径 22 cm の球の形をしたボールがあります。



このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。



この立方体の形をした紙の箱の体積が何 cm^3 かを求める式を書きましょう。
ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

チャレンジしてみよう！
答えは最後のページに
あるよ



平均正答率

小学校	枚方市	大阪府	全国
国語	68	66	67.7
算数	64	63	63.4

平均正答率

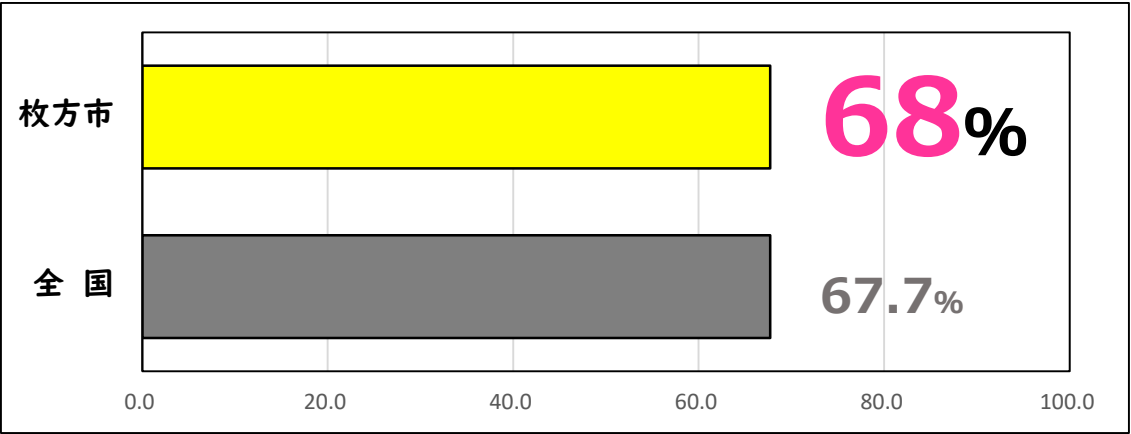
中学校	枚方市	大阪府	全国
国語	59	57	58.1
数学	53	51	52.5

小学校、中学校ともに、
国語は全国平均を上回っています。
算数(数学)も全国平均を上回っています。

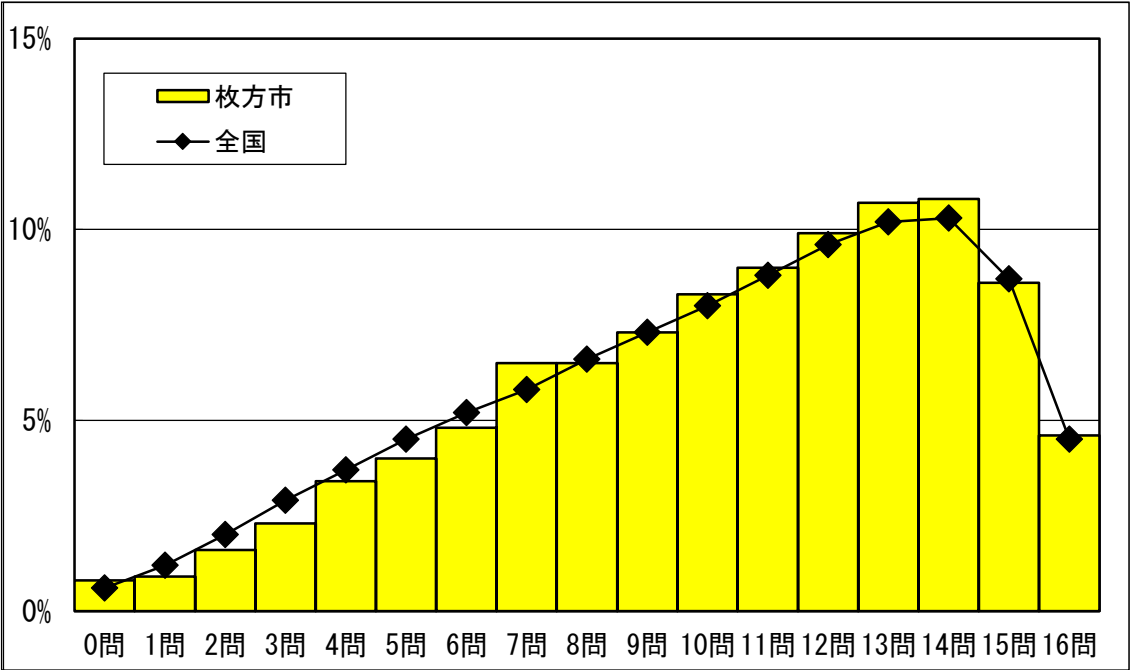
※都道府県・市町村の平均正答率については、小数点以下を四捨五入した整数値で結果が示されています。

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果<小学校 国語>

正答率



正答数分布

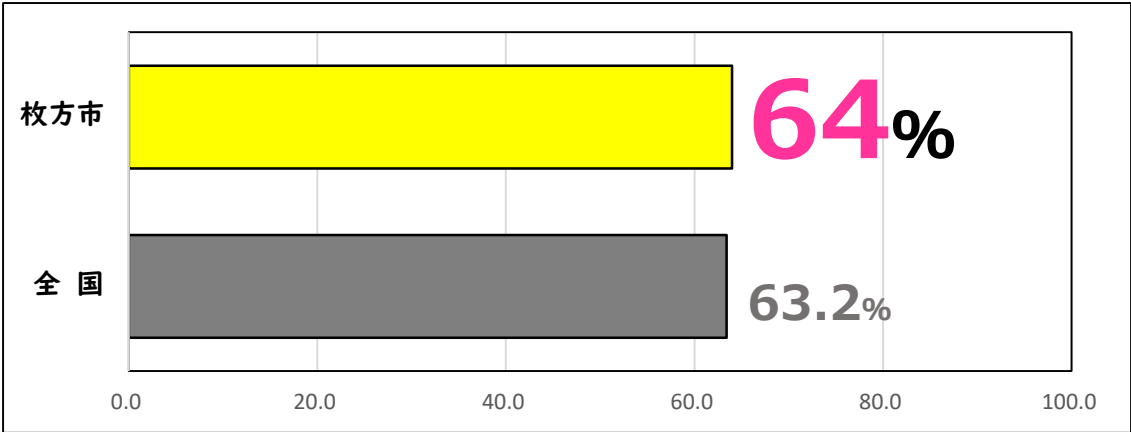


分類・区分別
集計結果

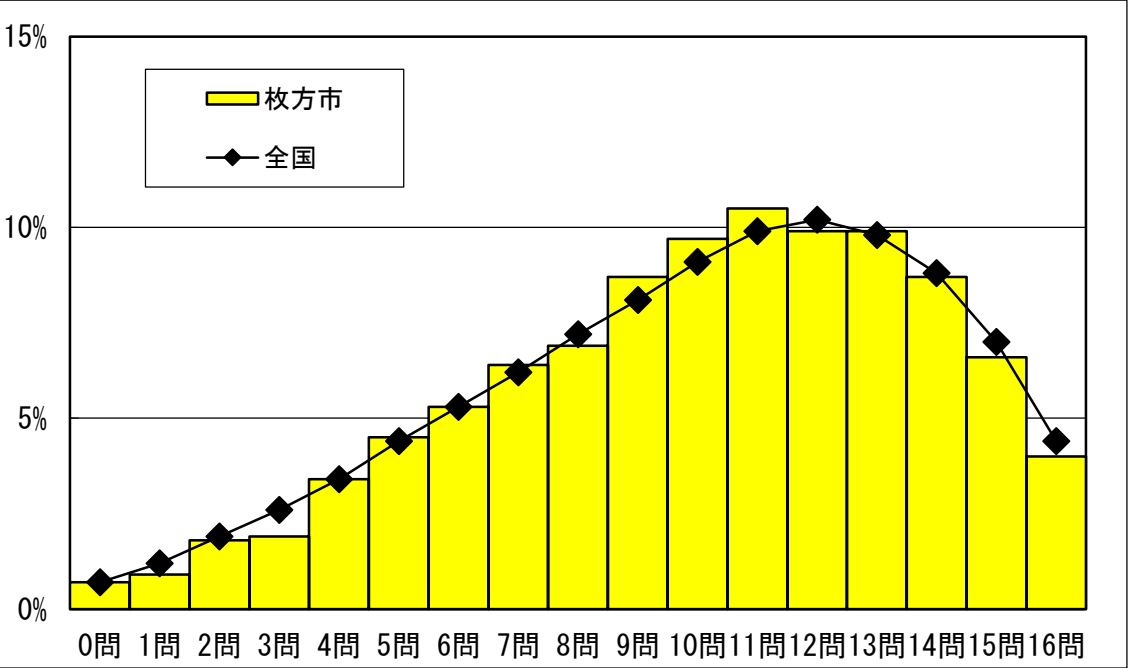
分類		区分		対象 問題数	平均正答率(%)	
					枚方市	全国（公立）
全体				14	68	67.7
学習指導要領 の内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項		4	65.9	64.4
		(2) 情報の扱い方に関する事項		1	87.9	86.9
		(3) 我が国の言語文化に関する事項		1	72.3	74.6
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと		3	61.0	59.8
		B 書くこと		2	69.2	68.4
		C 読むこと		3	69.0	70.7
評価の観点		知識・技能		6	70.6	69.8
		思考・判断・表現		8	66.0	66.0
		主体的に学習に取り組む態度		0		
問題形式		選択式		10	70.3	69.9
		短答式		2	61.5	59.7
		記述式		2	62.8	64.6

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果<小学校 算数>

正答率



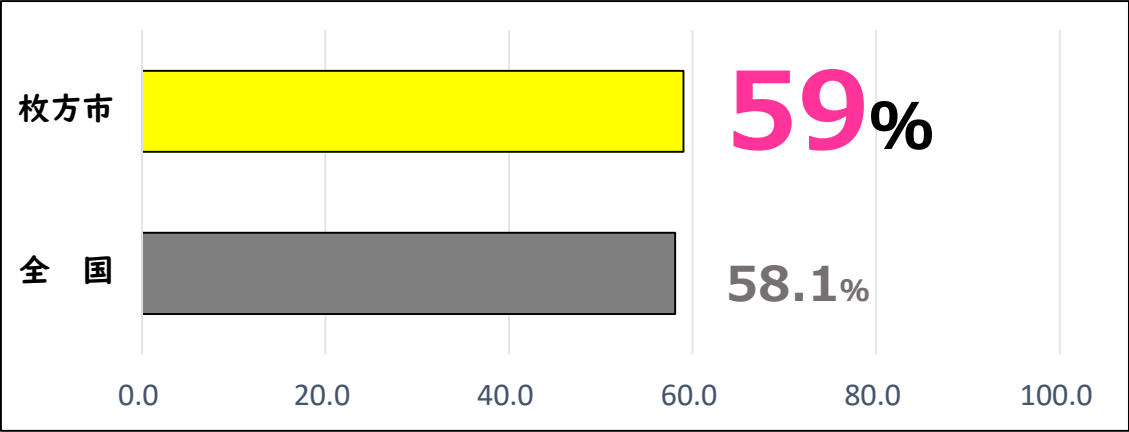
正答数分布



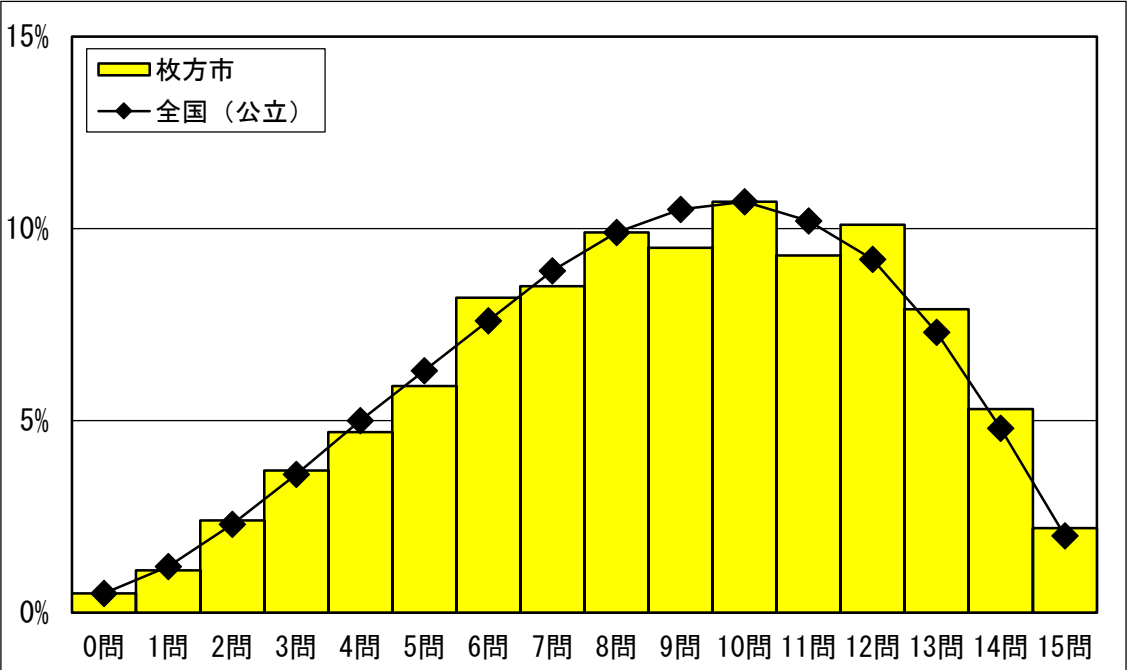
分類・区分別
集計結果

分類	区分		対象 問題数	平均正答率(%)	
				枚方市	全国（公立）
全体			16	64	63.4
学習指導要領 の領域	A 数と計算		6	67.4	66.0
	B 図形		4	67.4	66.3
	C 測定		0		
	C 変化と関係		3	52.5	51.7
	D データの活用		4	62.1	61.8
評価の観点	知識・技能		9	73.5	72.8
	思考・判断・表現		7	52.7	51.4
	主体的に学習に取り組む態度		0		
問題形式	選択式		5	76.5	75.3
	短答式		7	62.6	62.0
	記述式		4	52.3	51.0

正答率



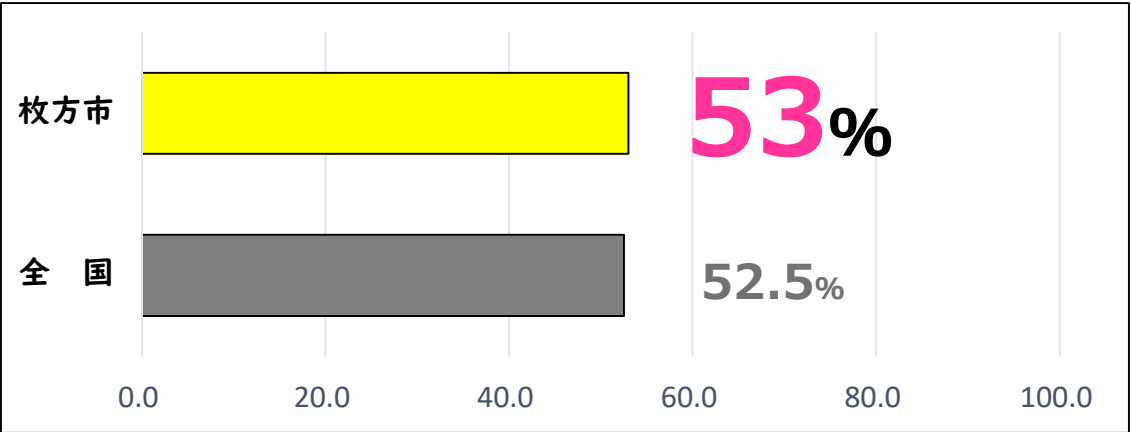
正答数分布



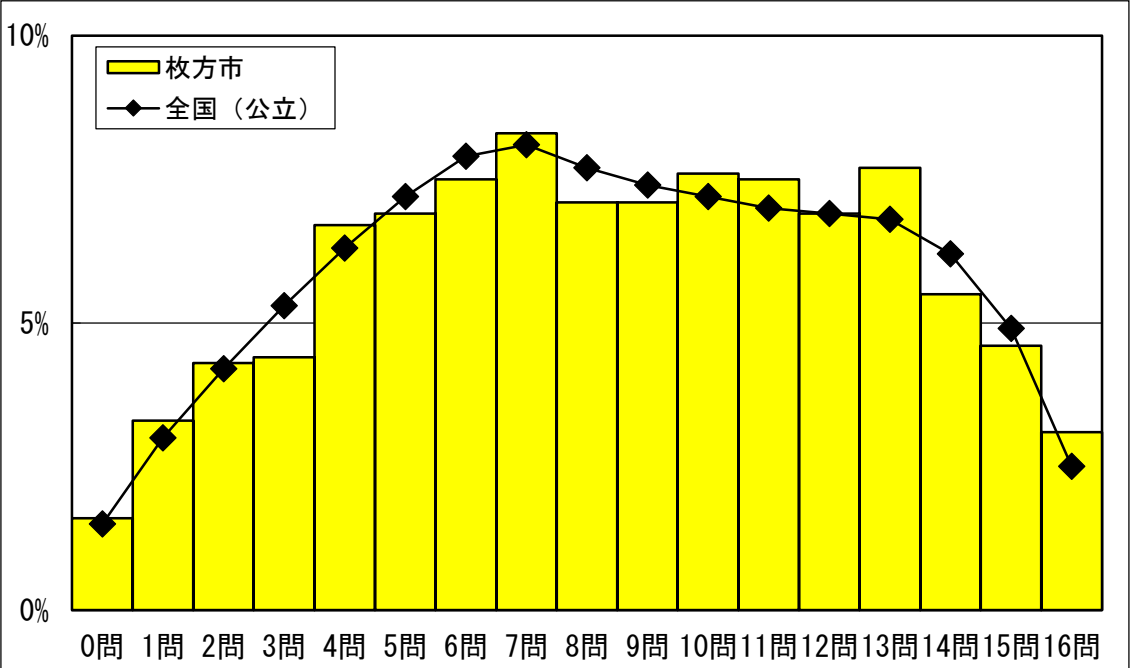
分類・区分別
集計結果

分類		区分	対象 問題数	平均正答率(%)	
				枚方市	全国（公立）
全体			15	59	58.1
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	3	59.1	59.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	61.4	59.6
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	75.6	75.6
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	60.4	58.8
		B 書くこと	2	65.2	65.3
		C 読むこと	4	48.4	47.9
評価の観点		知識・技能	6	62.6	62.0
		思考・判断・表現	9	56.1	55.4
		主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式		選択式	9	61.2	61.0
		短答式	3	64.2	61.8
		記述式	3	45.6	45.5

正答率



正答数分布



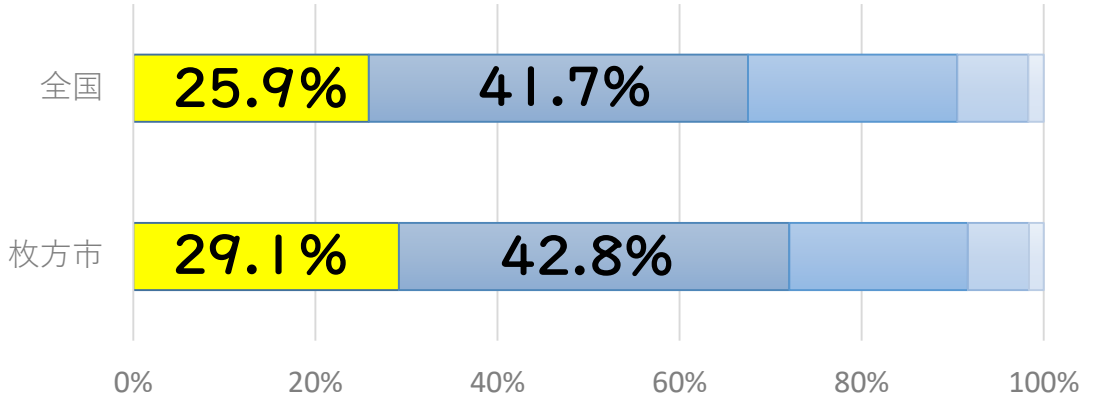
分類・区分別
集計結果

分類	区分		対象 問題数	平均正答率(%)	
				枚方市	全国（公立）
全体			16	53	52.5
学習指導要領の 領域	A 数と式		5	50.6	51.1
	B 図形		3	40.8	40.3
	C 関数		4	59.8	60.7
	D データの活用		4	57.6	55.5
評価の観点	知識・技能		11	63.3	63.1
	思考・判断・表現		5	29.9	29.3
	主体的に学習に取り組む態度		0		
問題形式	選択式		5	58.6	58.5
	短答式		6	67.1	67.0
	記述式		5	29.9	29.3

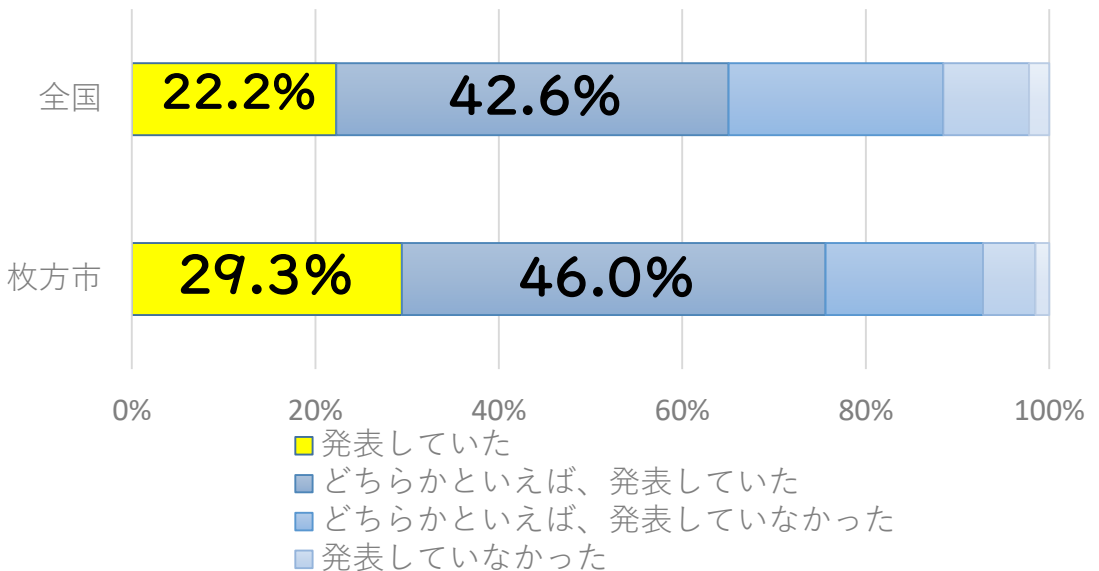
児童・生徒が授業で自ら工夫して発表している授業づくりが進んでいます

5年生（小学校）まで〔1、2年生（中学校）のとき〕に受けた授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか（児童生徒質問紙）

小学校



中学校

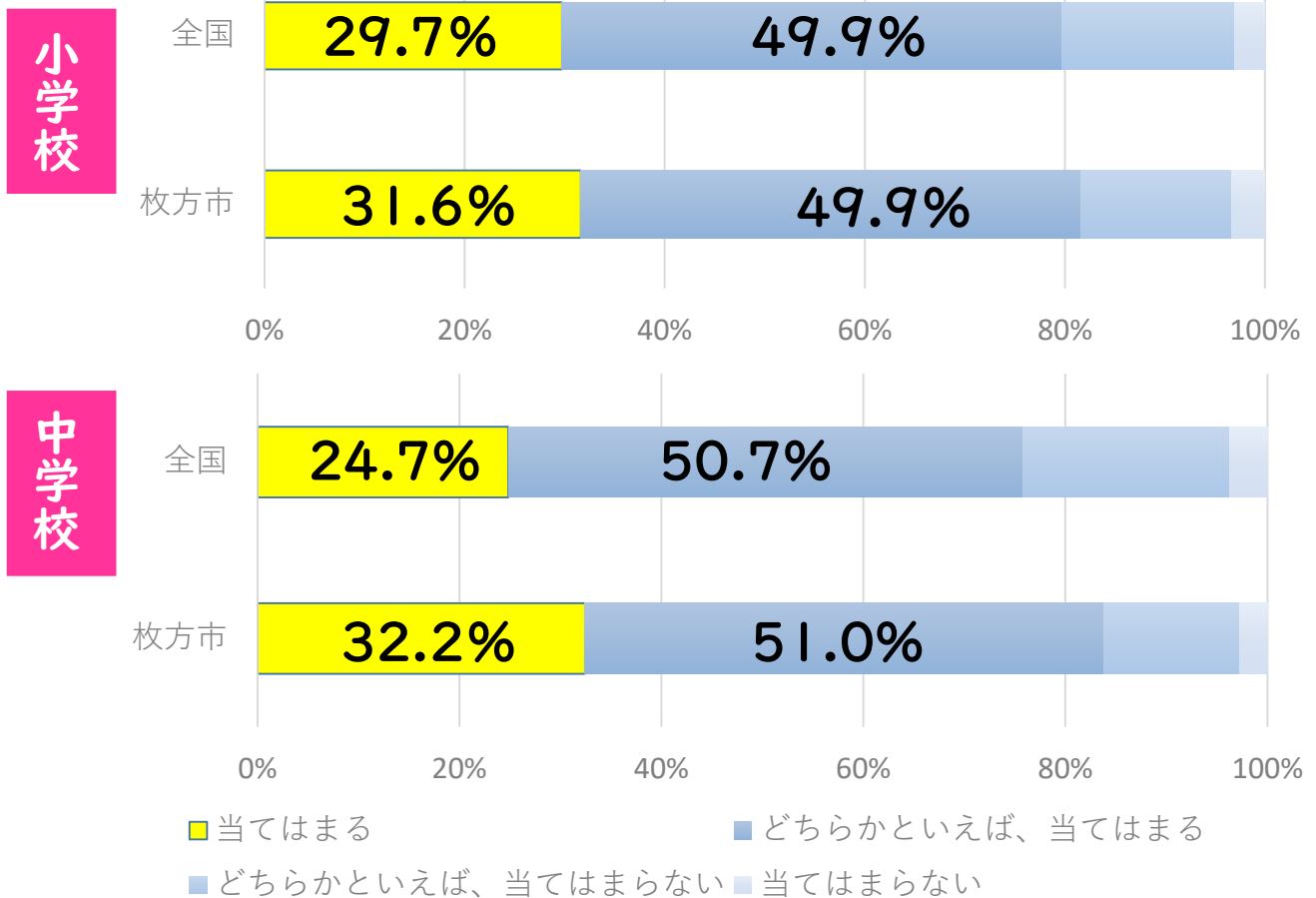


「発表していた」対全国との比較
小学校+3.2P 中学校+7.1P
全国を上回っています。

※本質問紙項目と学力調査との相関係数（枚方市）
小学校 国語0.20 算数0.19 中学校 国語0.22 数学0.24
文部科学省は0.2程度で相関があるとみています

児童・生徒が自ら学んだことを生かしながら考えをまとめる活動を行う授業づくりが進んでいます

5年生（小学校）まで〔1、2年生（中学校）のとき〕に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか（児童生徒質問紙）



「当てはまる」対全国との比較
小学校+1.9P 中学校+6.5P
全国を上回っています。

※本質問紙項目と学力調査との相関係数（枚方市）

中学校 国語0.21 数学0.22

小学校からの積み重ねが中学校で成果を見せています

枚方市は子どもたちが自分の考えをしっかりと伝えられる場面を設定しています。

調査対象学年の児童・生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか（学校の回答）

小学校

全国

20.1%

68.1%

枚方市

20.5%

72.7%

中学校

全国

20.6%

67.8%

枚方市

26.3%

68.4%

■ そう思う

■ どちらかといえば、そう思う

■ どちらかといえば、そう思わない/ 思わない

「そう思う」対全国との比較
小学校+0.4P
中学校+5.7P
全国を大きく上回っています。

枚方市は研修の充実により授業の質を高める努力を続けています。

児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか（学校の回答）

小学校

全国

34.1%

55.9%

枚方市

43.2%

50.0%

中学校

全国

30.9%

54.8%

枚方市

57.9%

42.1%

■よくしている ■どちらかといえば、している ■あまりしていない/全くしていない

「よくしている」対全国との比較

小学校+9.1P

中学校+27.0P

全国を大きく上回っています。

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果<グラフの見方>

『個別最適な学び』について

[授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。]

- 当てはまる
(又は) どちらかといえば、当てはまる
× どちらかといえば、当てはまらない
(又は) 当てはまらない

『協働的な学び』について

[授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか(新規)]

- 当てはまる
(又は) どちらかといえば、当てはまる
× どちらかといえば、当てはまらない
(又は) 当てはまらない

児童生徒質問紙より

例

「**個×協○**」は、上記の部分を表しています。

[個別最適な学び]と[協働的な学び]

×

[国語の授業はよく分かる]

0% 20% 40% 60% 80% 100%

個○協○

46.8%

45.0%

個×協○

23.7%

46.1%

個○協×

20.0%

47.0%

個×協×

8.6%

29.5%

■ 当てはまる

■ どちらかといえば、当てはまる

■ どちらかといえば、当てはまらない □ 当てはまらない

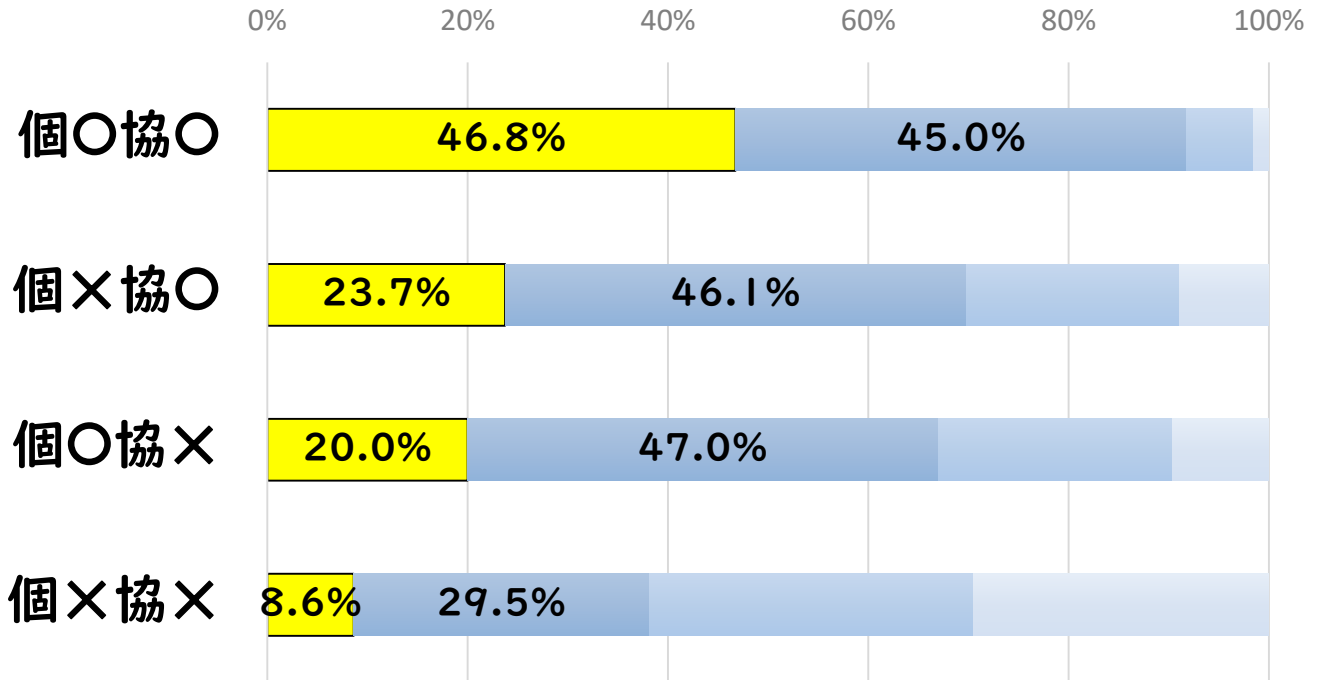
【見方】

赤い口で囲んだ部分は、『個別最適な学び』と『協働的な学び』について「当てはまる」と回答した児童・生徒のうち、『国語の授業についてはよくわかる』について『当てはまる』と回答した児童・生徒の割合を表しています。

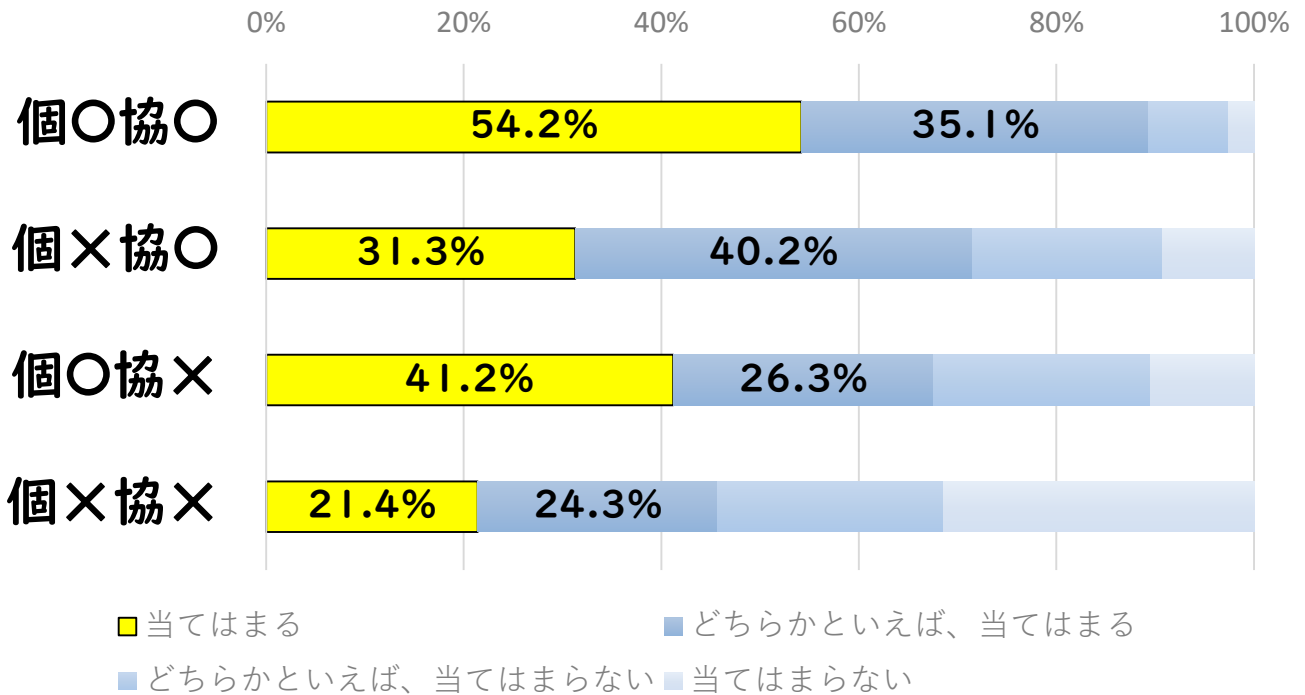


小学校

[個別最適]と[協働的]×[国語の授業はよく分かる]



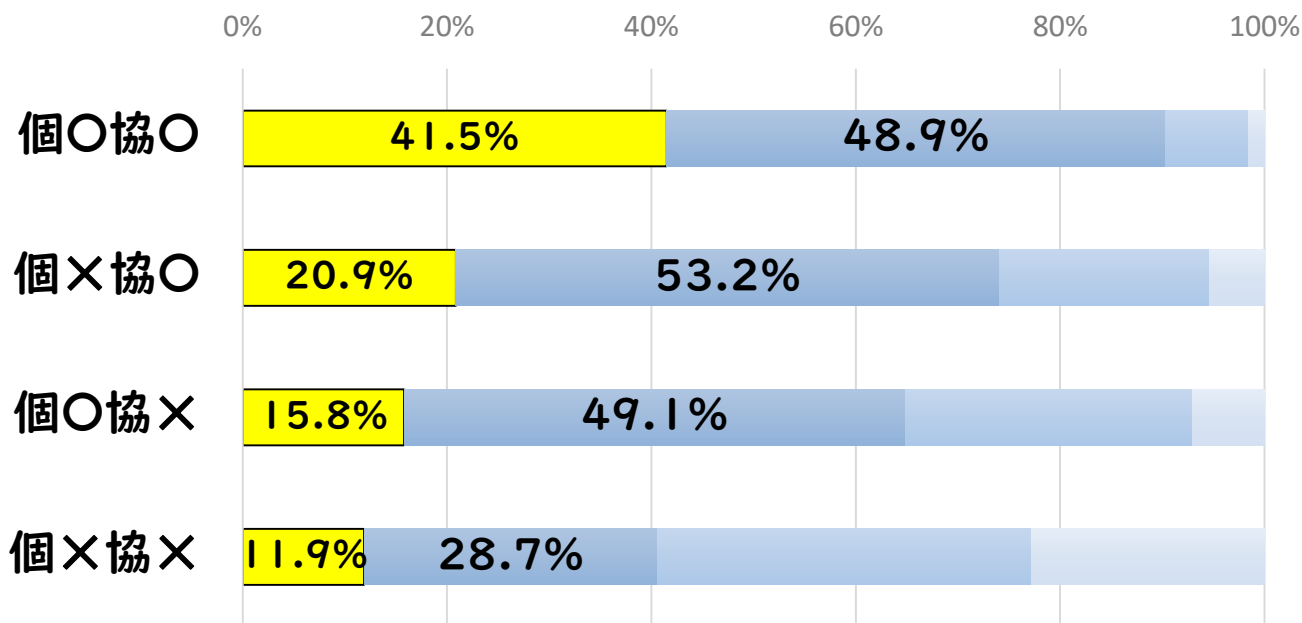
[個別最適]と[協働的]×[算数の授業はよく分かる]



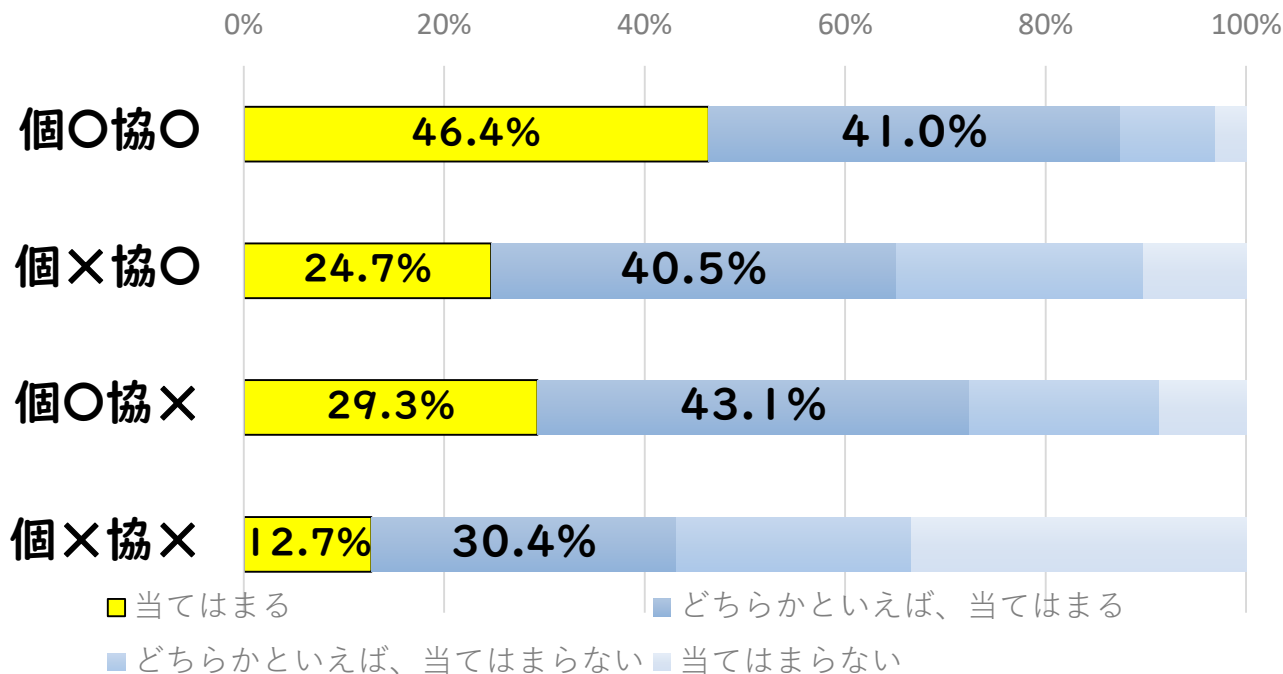
児童生徒質問調査について、個別最適な学び・協働的な学びの両方に取り組んだグループ(個○協○)が「授業の内容はよく分かる」と回答した割合が高かった。

中学校

[個別最適]と[協働的]×[国語の授業はよく分かる]



[個別最適]と[協働的]×[数学の授業はよく分かる]



児童生徒質問調査について、個別最適な学び・協働的な学びの両方に取り組んだグループ(個○協○)が「授業の内容はよく分かる」と回答した割合が高かった。

クロス集計とは、アンケート結果などのデータを集計する時に、2つ以上の観点でまとめる統計手法のことです。

ここからは、設問と設問のクロス集計を行い、設問間の関連を分析しました。



例

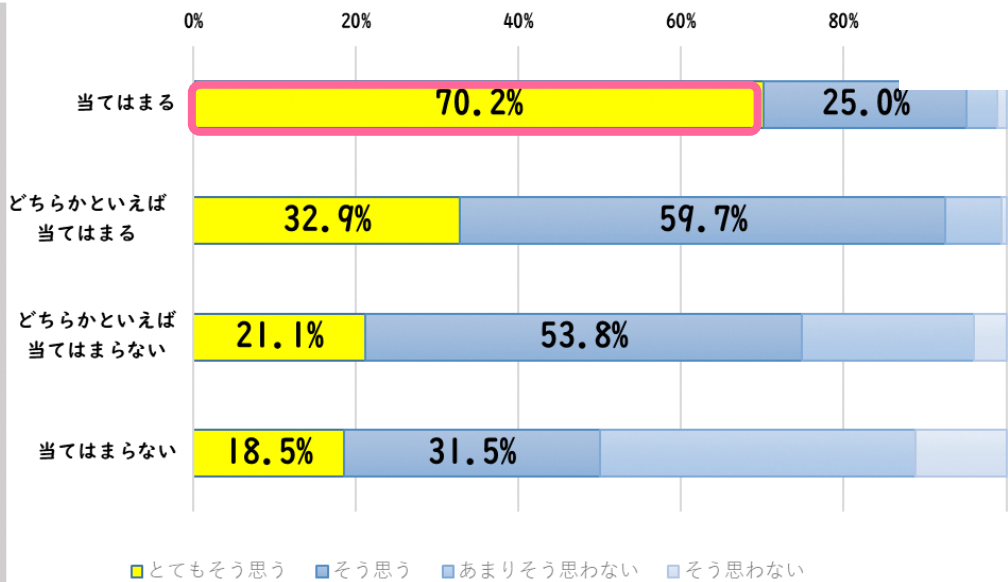
②

小学校 児童

①

ICT機器を活用することで、友達を考えを共有したり比べたりしやすくなると思いますか。

○ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることです。



【見方】

赤い□で囲んだ部分は、①の設問について「当てはまる」と回答した生徒の内、②の設問で「当てはまる」と回答した生徒の割合を表しています。



[話合いで考えを深めたり新たな考えに気づいたりした]

×

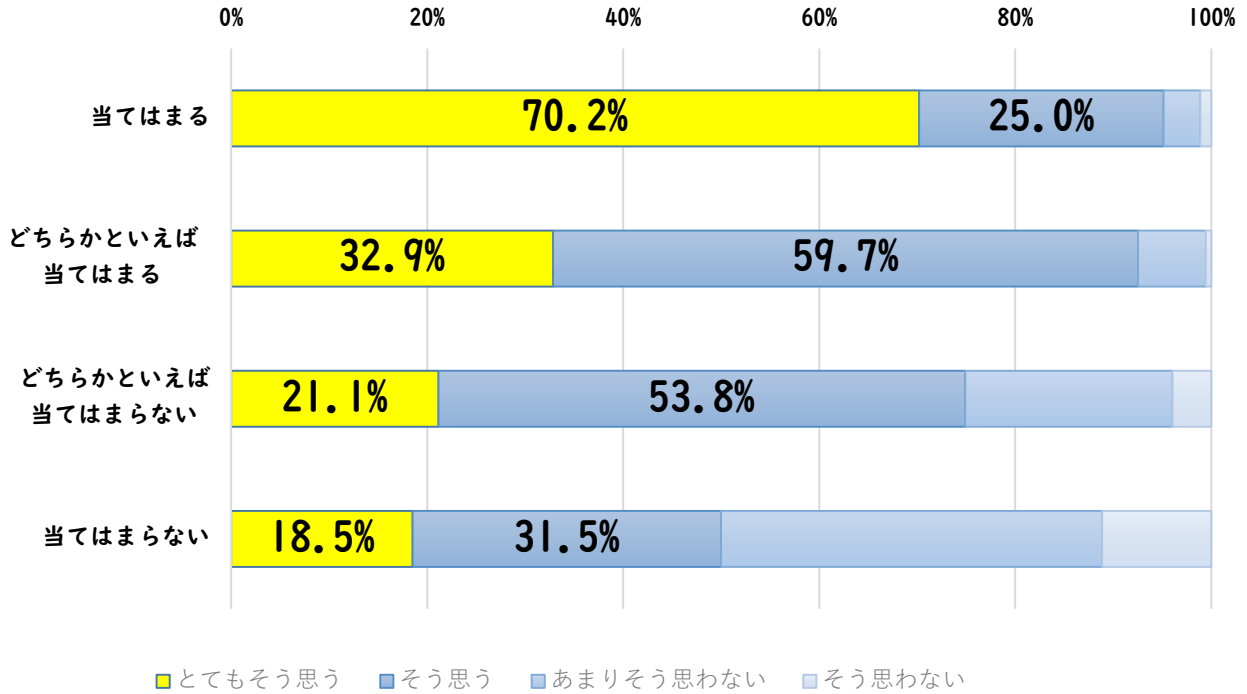
[ICT活用で友達と考えを共有・比較できる]

小学校 児童

中学校 生徒

ICT機器を活用することで、友達を考えを共有したり比べたりしやすくなると思いますか。

○ 自分や自分の友達の考えを深めたり話合ったり、新たな考え方を気づく。



小学校・中学校ともに、同じ割合となっており、主体的・対話的で深い学びに取り組んでいる児童生徒ほど、ICT機器活用の効力感に関して肯定的に回答している。

国立教育政策研究所の報告書において、
「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を進め、課題の解決に取り組む学習活動を行っている学校ほど、そのような学習場面でのICT機器の活用頻度が高いと回答している。その両方に取り組んだ学校グループの児童生徒は、それ以外の学校グループに比べて、各教科の正答率が高い。」ことが分析結果として掲載されています。

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果<クロス集計>

[よく分からなかった点等を見直し次の学習につなげた]

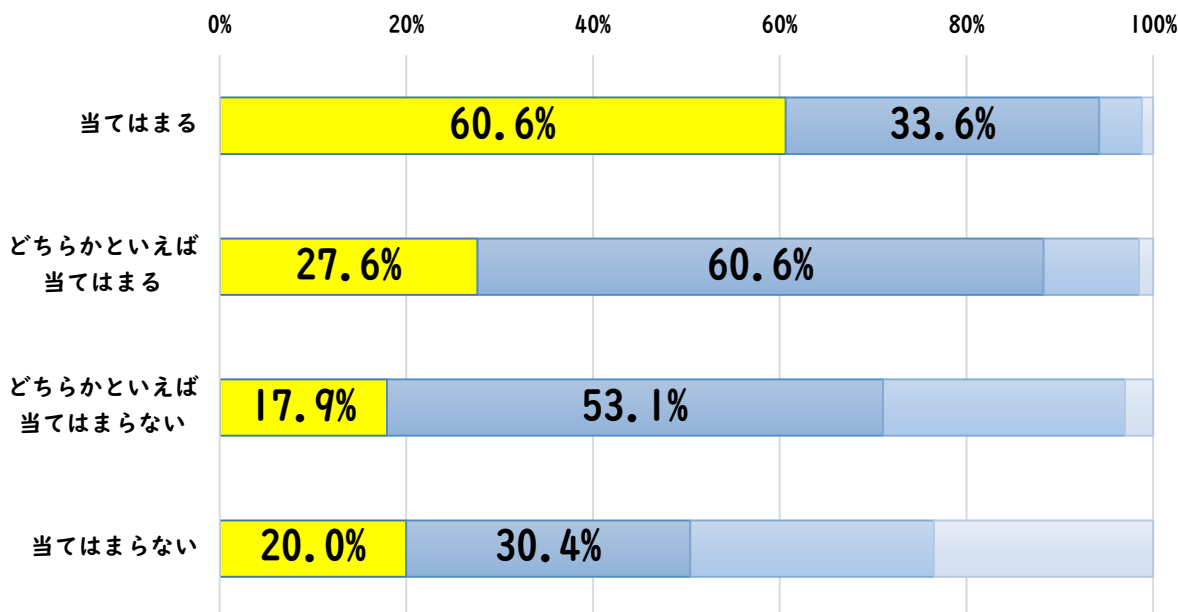
×

[ICT活用で自分のペースで学習]

小学校 児童

ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができると思いますか

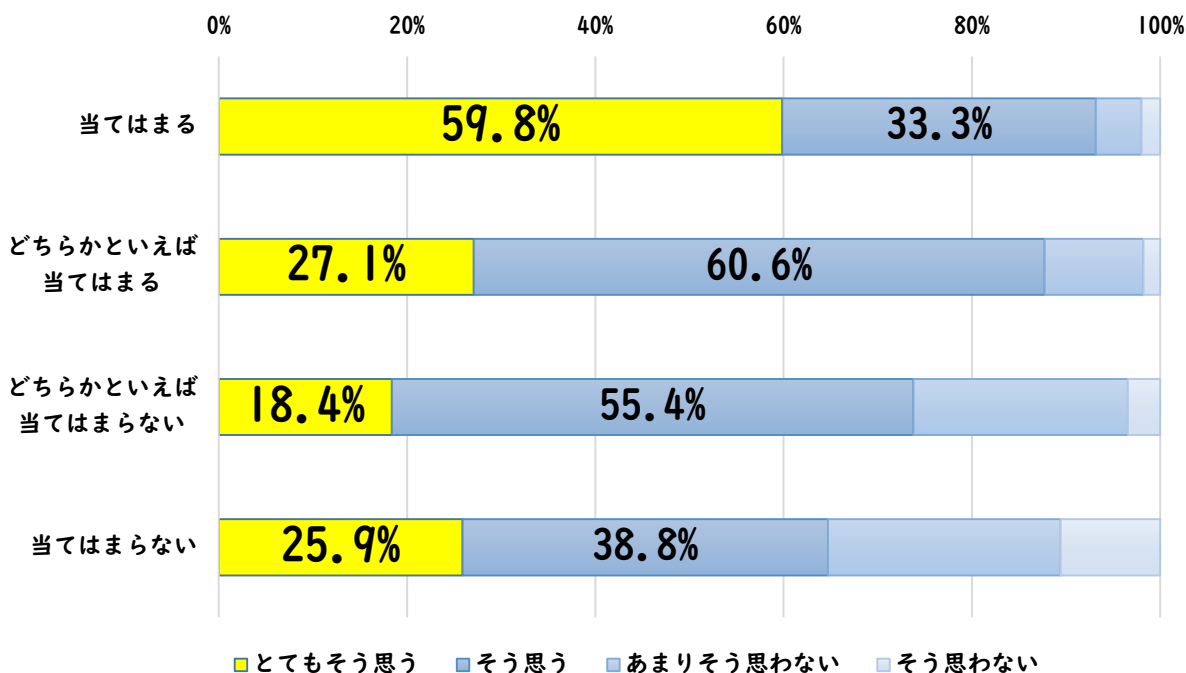
○
次の学習につなげることができていますか。
や、よく分からなかった点を見直し、学習した内容について、分かった点



中学校 生徒

ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができると思いますか

○
次の学習につなげることができていますか。
や、よく分からなかった点を見直し、学習した内容について、分かった点

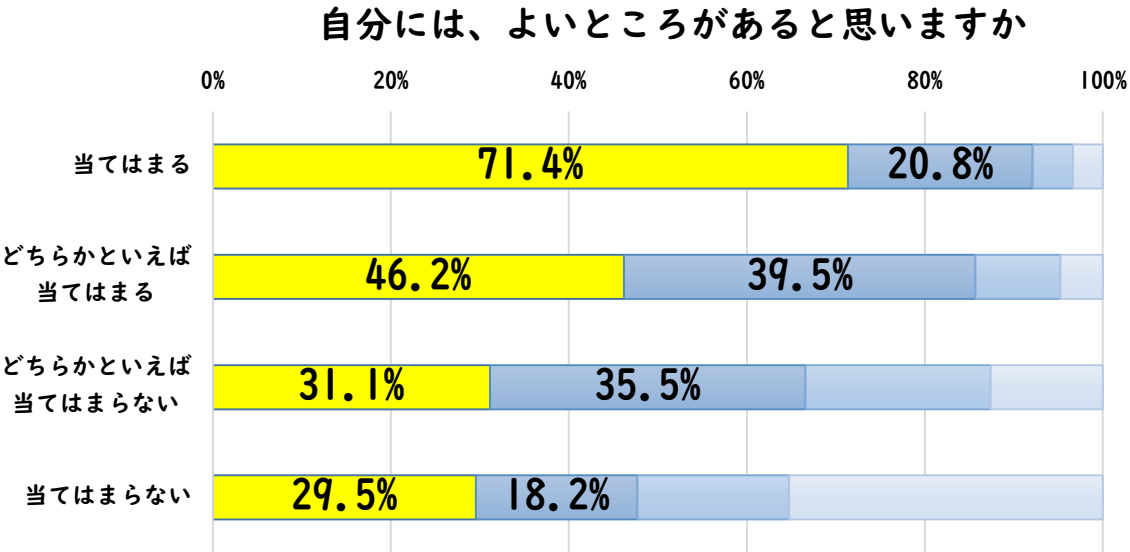


自分で学びを見直したり、次の学習に取り組む児童生徒ほど、ICT活用の効力に関して肯定的に回答しています。

[課題の解決に向けて自分から取り組んだ]
×
[自分にはよいところがあると思う]

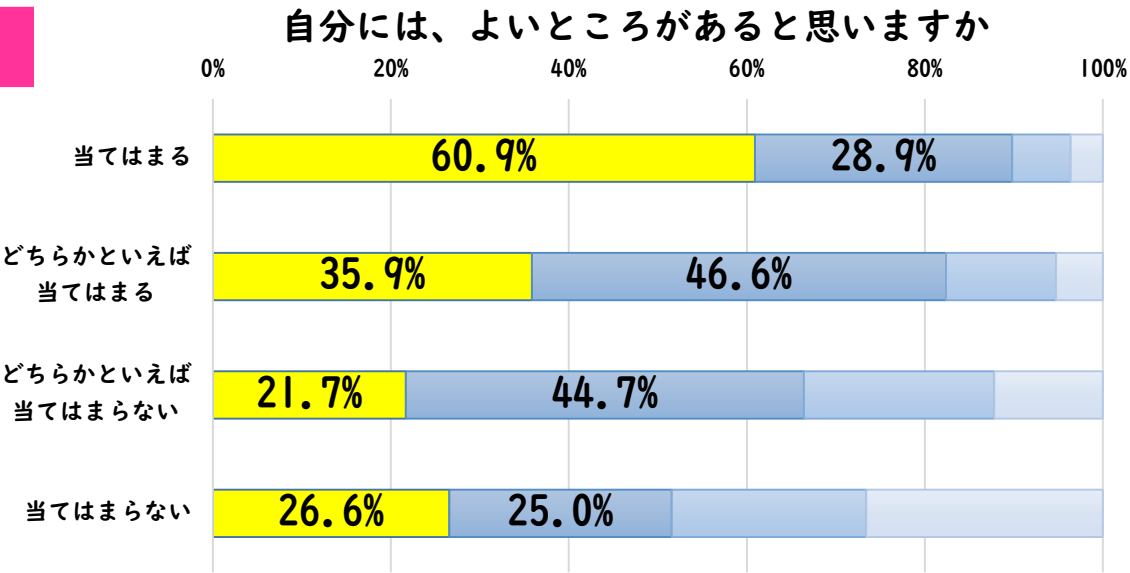
小学校 児童

○授業では、課題の解決に向けて自分で行ったか。



中学校 生徒

○授業では、課題の解決に向けて自分で行ったか。



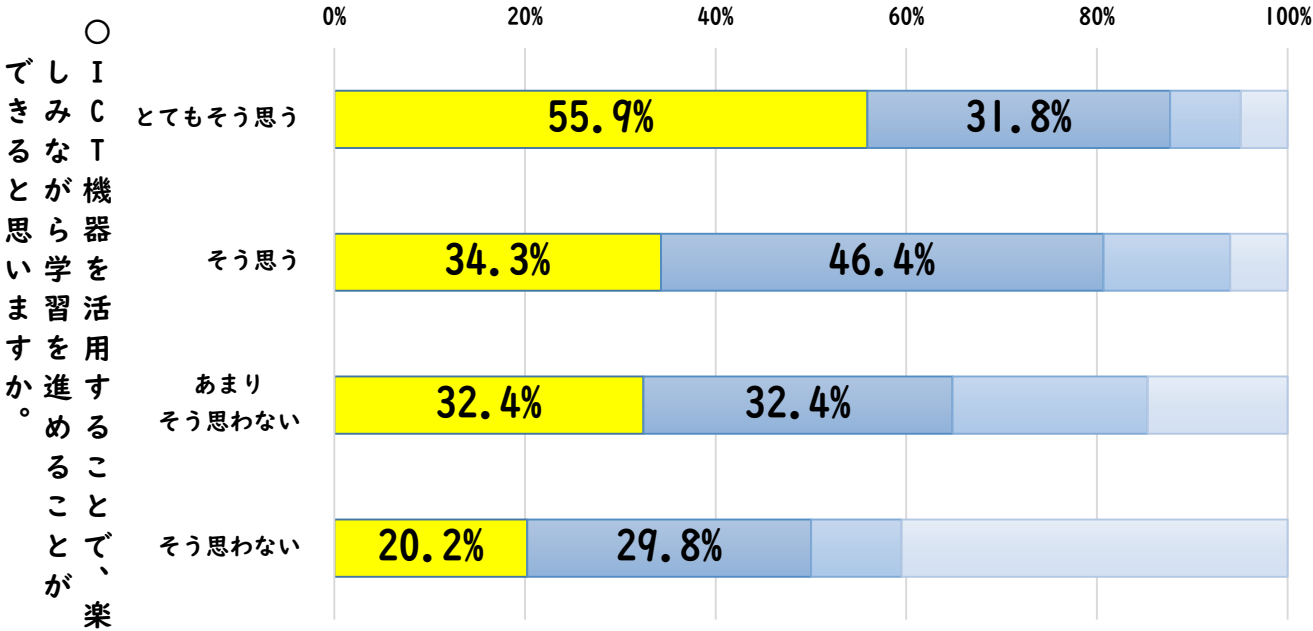
■当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない

昨年度に続き、「課題の解決に向けて自分から取り組んだ」に関する設問と「自分にはよいところがあると思う」に関する設問との間には相関が見られます。主体的・対話的で深い学びが、児童生徒の自己有用感等に良い影響を与えていると捉えています。

[ICT活用で楽しみながら学習] × [学校に行くのは楽しい]

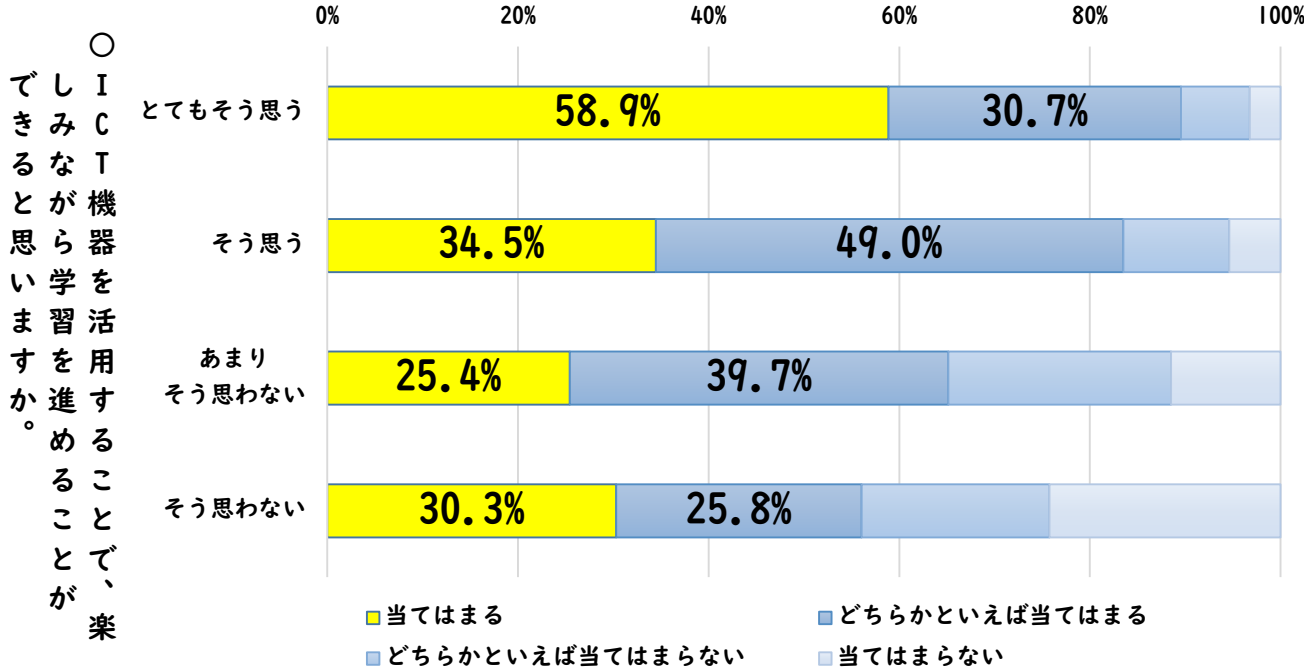
小学校 児童

学校に行くのは楽しいと思いますか



中学校 生徒

学校に行くのは楽しいと思いますか



ICT機器活用の効力感に関して肯定的に回答した児童・生徒ほど、挑戦心・自己有用感・幸福感等に関して肯定的に回答していると捉えています。

枚方市の小学校・中学校ともに、日ごろの授業を大切にしながら、子どもたちに身に付けたい力を着実につけていることがわかります。

国立教育政策研究所の報告書において、
「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を進め、課題の解決に取り組む学習活動を行っている学校ほど、そのような学習場面でのICT機器の活用頻度が高いと回答している。その両方に取り組んだ学校グループの児童生徒は、それ以外の学校グループに比べて、各教科の正答率が高い。」ことが分析結果として掲載されています。

枚方市もこの傾向が非常に高く示されております。引き続き子どもたちの学びを大切にした学習活動を進めてまいります。



《参考資料》

全国学力・学習状況調査：教育課程研究センター：国立教育政策研究所

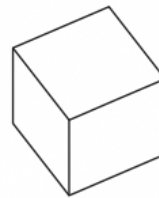
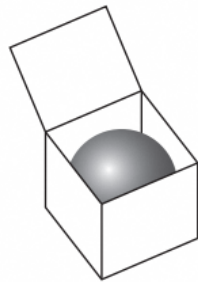
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

答え

(3) 直径 22 cm の球の形をしたボールがあります。



このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。



この立方体の形をした紙の箱の体積が何 cm^3 かを求める式を書きましょう。

ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

答えは、 $22 \times 22 \times 22$

誤答例 ① 22×22 ② 22×3.14 を用いた式 ③ 22×6 など

誤答例の解説をするよ。

- ① 22×22 と解答している児童は、球の直径の長さで立方体の一辺の長さの関係を捉えているけれど立方体の一つの面の面積の求め方を式にしてしまったかな。
- ② 22×3.14 と解答している児童は、円の直径と円周率から体積を求めることができると誤って捉えていると考えられるね。
- ③ 22×6 と解答した児童は、円の直径と立方体の面の数から体積を求めることができると誤って捉えていると考えられるね。



身の回りの形から図形を捉え、図形を構成する要素を見だし、体積を求めるために必要な情報を判断できるようになるといいね。